

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 341

施策 健康づくりの推進

管理事業 予防接種事業

1 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 健康被害調査委員会事業	保健センター	吹田市が実施する予防接種による健康被害を受けた本人やその保護者から本市への申請があった場合に調査委員会を開催する。	事業全体が法定事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 予防接種事業	保健センター	予防接種法で定められた伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種を行う。定期接種は法定事務。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 916,935	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・感染症の発生及びまん延を防止するには高い接種率が必要となることから、他市の状況等を踏まえつつ、市民が予防接種を受けやすいよう、多くの定期予防接種で全額公費負担による接種を実施している。 ・一方で、ワクチンの増加や接種対象者の拡大等により費用が増加傾向にあり、今後も同様の見通しであることから、持続的な事業実施のための財源の確保が課題となっている。 ・今後、開発が見込まれる新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種に向けた事業実施の方策や体制の整備が必要である。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 予防接種健康被害補償事業	保健センター	予防接種法に基づき実施した予防接種により健康被害が生じたと認定された者に対して、医療費、医療手当、障害年金等を給付する。	事業全体が法定事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 8,908	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 風しん予防接種促進事業	保健センター	妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体がなく予防接種が必要なる者に対して、風しん予防接種に要した費用の一部を助成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 5,016	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・風しんの流行状況等により事業費の増減が見込まれるが、近年は事業費が増加傾向にある。 当面は事業を継続する必要がある、引き続き大阪府からの補助金を活用しつつ効率的に実施していく必要がある。 ・令和2年度からは、中核移行に伴い、大阪府が実施する風しんの抗体検査事業が移譲されたため、今後、本事業と併せて効率的に実施する必要がある。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種費用補助事業	保健センター	造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫が失われたことにより再度の予防接種が必要となった20歳未満の市民に対して、再度の予防接種に要した費用の一部を助成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 17	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・造血細胞を移植した児童の感染症予防や再度の予防接種による費用の負担軽減に大きく寄与する事業であるため、府の補助金を確保しつつ引き続き実施していく必要がある。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		
(千円)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課